

人民文学 复刻版 概要

全一五巻・付録一・別冊一 A5判・上製本・総六、七五〇ページ

収録  
内訳  
└ 「人民文学」(一九五〇年一月～一九五三年一二月刊・全36冊) II 復刻版1～12巻に合本  
└ 「文学の友」(一九五四年一月～一九五五年二月刊・全14冊) II 復刻版13～15巻に合本

付録  
└ 「別冊 文学の友」(一九五四年四月、七月、一〇月刊・全3冊)  
└ 「小林多喜二と人と作品」(一九五二年二月刊、岩上順一著・人民文学社)  
└ 付録1巻に合本

別冊――解説・回想・総目次索引+DVD1枚（全冊の表紙画像カラーデータ、総目次索引PDFデータ収録）  
\*別冊のみ分売可=本体価格 1,000円+税 ISBN-978-48350-6642-4

解説——道場親信（和光大学准教授）  
鳥羽耕史（徳島大学准教授）

回想——柴崎公三郎（元『人民文学』発行責任者）  
推薦——加納実紀代（敬和学園大学教授）

島村 麟  
(エリヤ子学院大学教授)  
坪井秀人 (名古屋大学教授)  
或田龍一 (日本女子大学教授)

定価——本体端価格——五六、〇〇〇円+税

(著者)

文学】関係

（メーデーに参加した『人民文学』関係者）

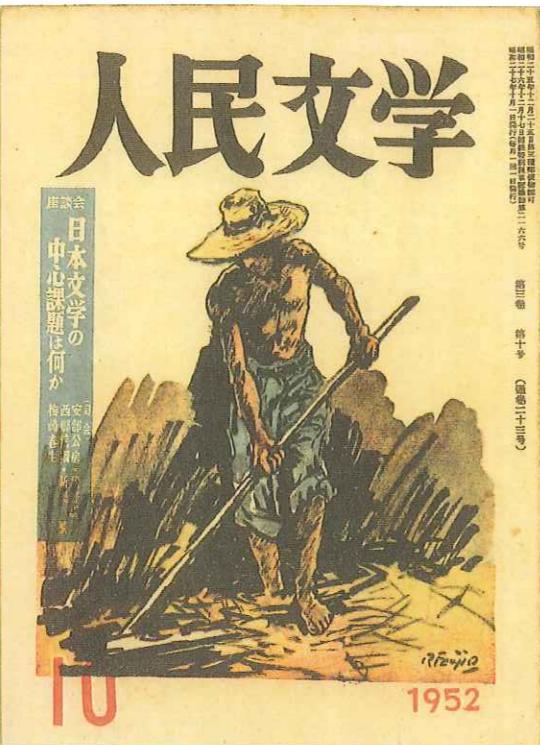


## 配本一覽表

| 配本<br>復刻版巻数   | 原本の巻号数             | 原本の刊行年月         | 配本年月・価格( ISBN )                                 |
|---------------|--------------------|-----------------|---|
| 第4回配本         | 第1巻<br>一卷一号～一卷三号   | 一九五〇年一月～一九五一年三月 | 二〇一〇年一月刊行                                       |
| 付<br>録        | 第二回<br>二卷四号～二卷七号   | 一九五一年四月～七月      | 本体六四、〇〇〇円+税<br>(978-4-8350-6621-9)              |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第三回<br>二卷八号～二卷一一号  | 一九五一年八月～一二月     | 二〇一一年四月刊行<br>本体六四、〇〇〇円+税<br>(978-4-8350-6626-4) |
| 「別冊文学の友」第二集   | 第四回<br>三卷一号～三卷三号   | 一九五一年一月～三月      | (978-4-8350-6631-8)                             |
| 「別冊文学の友」第三集   | 第五回<br>三卷六号        | 一九五二年七月～九月      |   |
| 「小林多喜二～人と作品」  | 第六回<br>三卷七号～三卷九号   | 一九五二年一〇月～一二月    |   |
|               | 第七回<br>三卷一〇号～三卷一二号 | 一九五三年一月～二月      |   |
|               | 第八回<br>四卷一号～四卷二号   | 一九五三年三月～四月      |   |
|               | 第九回<br>四卷三号～四卷四号   | 一九五三年五月～六月      |   |
|               | 第十回<br>四卷五号～四卷六号   | 一九五三年七月～八月      |   |
|               | 第十一回<br>四卷七号～四卷八号  | 一九五三年九月～一二月     |   |
|               | 第十二回<br>四卷九号～四卷一一号 |                 |   |
|               | 別冊解説・回想・総目次索引+DVD  |                 |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一三回<br>五卷一号～五卷四号  | 一九五四年一月～四月      |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一四回<br>五卷五号～五卷八号  | 一九五四年五月～八月      |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一五回<br>五卷九号～六卷一号  | 一九五四年九月～一九五五年二月 | 二〇一一年一月刊行<br>本体六四、〇〇〇円+税<br>(978-4-8350-6637-0) |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一回<br>一九五四年四月     |                 |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一回<br>一九五四年七月     |                 |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一回<br>一九五四年一〇月    |                 |   |
| 第一回<br>別冊文学の友 | 第一回<br>一九五二年二月     |                 |   |



\* 戰後文化運動雜誌叢書(10)



(一九五〇年—一九五五年)

別冊・解説・回想・総目次索引+DVD(表紙画像データ収録)1枚  
解説・道場親信、鳥羽耕史  
回想・柴崎公三郎  
推薦・加納実紀代、島村輝、坪井秀人、成田龍一  
定価・本体単価格二五六、〇〇〇円+税(全4回配本)

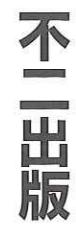
戦後文学運動を新たな文脈で見直すための重要雑誌！

一九五〇年、「新日本文学会」から離れた江馬修や藤森成吉らによつて創刊された本誌は、各地で発行されたサークル誌の中心的存在であり、安部公房・野間宏らの文壇作家や、小林勝・春川鉄男ほかの労働者作家、許南麒ら在日朝鮮人作家等が参画した

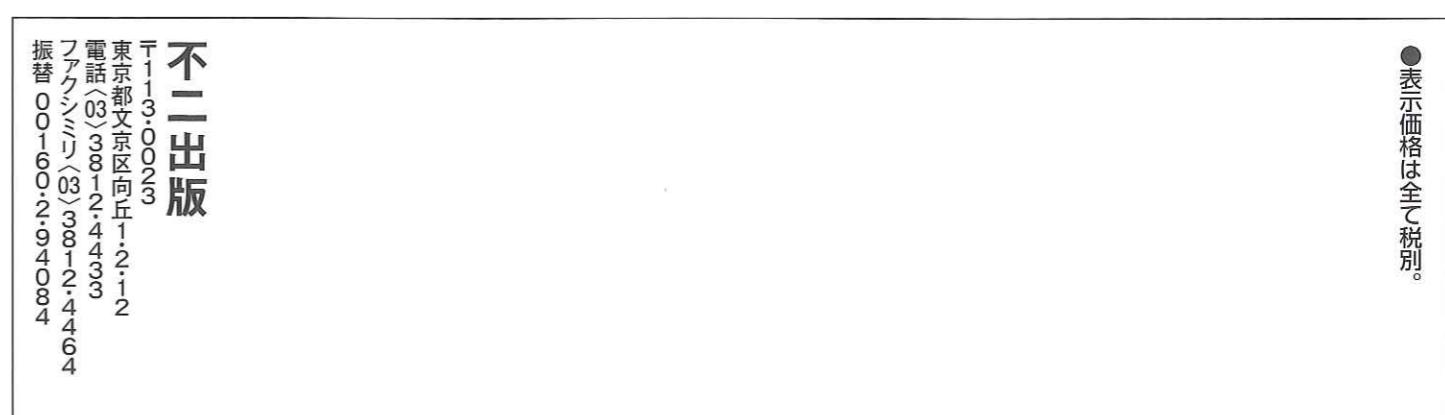
後継誌『文学の友』他も併せて収録し、新たに「解説・回想・総目次索引」を付して刊行！



(左から柴崎公三郎、安部公房、野間宏



●表示価格は全て税別。





## 推薦文

### あり得たかも知れない 「もう一つの戦後」

加納実紀代

(敬和学園大学)



### 「人民」の揺らぎ、その可能性

坪井秀人

(名古屋大学)

英語でpeopleは常にpeopleであり、それは揺らぐことはない。〈庶民〉から〈国民〉まで多様な領域を内包するからこそ、peopleのこの揺るぎのなさには、逆にいかがわしさが付きまとった。雑誌『人民文学』が立ち上げた〈人民〉という主体は、一九五〇年代日本の同時代のはげしい波にもまれながら、こうした〈いかがわしさ〉をするなく突き抜けて、私たちの目の前に、いままでよみがえろうとしている。『人民文学』を繙くと、ところどころで、日本国内はもとより中国や朝鮮半島あるいは他の海外地域の〈人民〉との連携をうたう言説や表象に出会う。その末期には国民文学論の拠点メディアの一つともなった『人民文学』も〈民族〉や〈国民〉の一国主義的な枠組から自由であつたわけではない。だが、『人民文学』が主体化した〈人民〉は、普遍を目指しても普遍に落ち着くことのない、はげしい揺らぎを表現しつづけた存在だった。占領体制と片面講和への途、松川事件ほかの国内の諸事件、そして朝鮮戦争、革命後の中国など、揺れ動いてやまぬ東アジアの圏域のなかで、日本列島の來し方行く末をまなざし、あるいは労働者として、あるいは工作者として、現場に入り込む、この雑誌の〈人民〉たちの足取りは、勇ましければ勇ましいほどに、あぶなつかしい。だが、そのあぶなつかしい足取りを見直すことを通して、いまの私たちには、peopleの普遍主義とはまったく異なる連帯と協同への道筋の可能性も見えてくるのではないだろうか。

### あらたな戦後史像のために

成田龍一

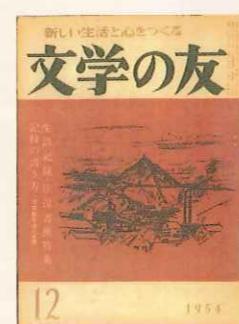
(日本女子大学)

思い起こしてみると、『人民文学』を一冊ずつ手に取りページを繰つたのは、二〇〇〇年ころのことであった。保存している図書館がほとんどない状態であるうえ、狭義の政治を優先した雑誌という先入観もあり、長いあいだ『人民文学』に接することをかまけていた。しかし一念発起して読み進めて行くうちに、当初の先入観が次々に覆されていくことになった。

なるほど『新日本文学』への対抗意識をむき出しにした記事もあったが、東アジアとの連帯や朝鮮戦争をめぐっての動き、現状の変革を正面に据えた活動の様相が生々しく伝わってきた。世界各地の人民文学の情報が紹介されること、在日朝鮮人の執筆者が多いことも目を惹いた。加えて、読者からの投書や、カットや図版も興味深かつた。

思うに、一九五〇年代はイデオロギーの時代であり、さまざまな現象がそのフィルターによって解釈され論じられていた。いま、半世紀たつてこの事態を歴史化するとき、生活世界と政治とを切り結ぼうとする「人民」の営みが見えてくる。そして、そうした人びとのエネルギーを背景に『人民文学』はサークルを介し、広義の文学活動を行っていた。いや、その人びとによつて『人民文学』が存立し、「書く人民」を生み出していった。

こうした『人民文学』により一九五〇年代を考察するとき、戦後の光景もまた一転することになる。そして、このことは政治と文学の再定義を促すことになるはずだ。



かつて、皇居前広場が人民広場と呼ばれた時代があった。敗戦から一九五〇年代初めの時期である。一億玉碎を生き延びたかつての「臣民」のなかには、象徴天皇に統合される「国民」を肯んぜず、「人民」にこそアイデンティティを見いだす数多くの人びとがいたのだ。『人民文学』にはそうした人びとの思いが凝縮されている。

『人民文学』刊行の時期は朝鮮戦争にほぼ重なる。戦後史を振り返れば、朝鮮特需によって日本は戦後復興を遂げ、高度経済成長になだれ込んでいくのだが、『人民文学』の目次をたどれば、けつして人びとはただそれに踊らされていたのではないことがわかる。単独講和による独立や警察予備隊批判、原爆、松川事件など占領下の弾圧問題、また松田解子の花岡事件をテーマにした「地底の人々」が連載されているように、朝鮮・中国に対する日本の加害責任もしつかり直視されている。

女性筆者もけつこう多い。豊田正子・松田解子・山代巴などのプロ作家のほか、サークル運動の女性たちのさまざまな表現活動も載っている。この激動の時代、「人民」たる女性たちは何を考え何を感じ、それをどう表現したのだろうか。そこからは商業雑誌からは見えない女性たちの姿が浮かびあがつてくるにちがいない。

『人民文学』の復刻は、あり得たかも知れない「もう一つの戦後」の証言として、大きな意味を持つ。

### 五十年代文化を 考える必見資料

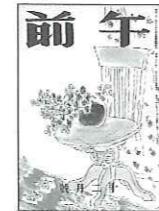
島村輝  
(エリス女学院大学)

サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約が調印された一九五一年の前後は、近現代の日本とそれをめぐる地域の歴史の上で、あらゆる領域にわたつて、一種の「特異点」ともいべき複雑な状況が現出した時代だといつてよからう。そうした状況を背景に創刊された『人民文学』といえば、戦後の民主主義文学運動のなかで、日本共産党の「五年問題」分裂と内部抗争の影響を強く受けた政治思潮を代表する雑誌の一つであると、一般的には理解してきた。しかしこうした見方も、上述のような強風を経験した当事者たちの印象を映した、一面を強調していくことでもできる。このたび『人民文学』の全貌が復刻刊行されることで、この雑誌に対する従来のイメージも大きく変わり、この時代と文化を考える上での新たな発見がいくつもなされていくに違ひないと期待する。多喜二研究の立場からは、付録に収録される岩上順一の『小林多喜二と人と作品』も大変貴重である。

## 午前

《全5巻・別冊1》

南風書房=発行/北川晃二=編  
昭和21年~24年刊



体裁 A5判・上製・総2,104頁  
別冊 解説・回想・総目次・索引  
解説 狩野啓子・長野秀樹・深野治  
査定価 90,000円+税  
推薦 大西巨人・紅野敏郎

## 文化展望

《全3巻・別冊1》

三帆書房=発行/大西巨人ほか=編  
昭和21年~23年刊



体裁 B4判並製・B5判上製・総666頁  
別冊 解説・総目次・索引  
解説 赤塚正幸・大西巨人・狩野啓子  
査定価 28,000円+税  
推薦 大西巨人・紅野敏郎

## 鵬・ピオネ・藝術前衛

《全2巻・別冊1》

鵬同人社ほか=発行  
岡田芳彦・出海渙也ほか=編  
昭和20年~25年刊



体裁 菊判・上製・総886頁  
別冊 解説・総目次・索引  
解説 赤塚正幸・麻生久・出海渙也  
査定価 35,000円+税  
推薦 大西巨人・紅野敏郎

## サークル村

《全3巻・付録1・別冊1》

九州サークル研究会=発行  
昭和33年~36年刊

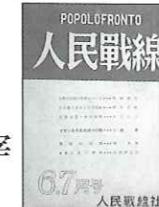


体裁 A5判・B5判・上製・総1,946頁  
別冊 解説・回想・総目次・索引  
解説 井上洋子・坂口博・松下博文  
査定価 65,000円+税  
推薦 有馬学・池田浩士・上野千鶴子・鶴見俊輔

## 人民戦線

《全5巻・別冊1》

人民戦線社=発行/中西伊之助=主宰  
昭和20年~24年刊



体裁 A5判・上製・総1,700頁  
別冊 解題・総目次・索引  
解題 勝村誠・秦重雄  
査定価 68,000円+税  
推薦 高柳俊男・西田勝

## ヂンダレ・カリオン

《全3巻・別冊1》

大阪朝鮮詩人集団機関誌  
昭和28年~38年刊



体裁 A5判・上製・総922頁  
別冊 解説・鼎談・総目次・索引  
解説 宇野田尚哉・細見和之  
査定価 36,000円+税  
推薦 金時鐘・梁石日・鶴飼哲・米谷匡史

## 東京南部サークル雑誌集成

《全3巻・付録1・別冊1》

昭和26年~35年刊



体裁 B5判・上製・総1,800頁  
別冊 解説・解題・回想・総目次・索引  
解説 道場親信 解題=浜賀知彦  
査定価 68,000円+税  
推薦 小関智弘・坪井秀人  
西川祐子・ハリー・ハルトウーニアン

## 綜合文化

《全3巻・別冊1》

真善美社=発行  
昭和22年~24年刊



体裁 A5判・上製・総1,318頁  
別冊 解説・総目次・索引  
解説 鳥羽耕史  
査定価 48,000円+税  
推薦 池田浩士・高良留美子・鶴見俊輔・成田龍一

## 新女性

《全16巻・別冊1+DVD付き》

新女性社=発行  
昭和25年~31年刊



体裁 A5判・上製・総9,496頁  
別冊 解題・総目次・索引+DVD1枚  
解題 伊藤康子  
査定価 370,000円+税  
推薦 丸義一・坪井秀人・橋本宏子・藤田ゆき

|             |             |
|-------------|-------------|
| 栗本の負傷       | 別冊 文学の友 第1集 |
| 戦場で聖歌をさういた  | 別冊 文学の友 第1集 |
| 老 人         | 萬 吉         |
| 歌舞明日のために    | どこまで        |
| 妙義のいわはだ     | 老 人         |
| 間島バルチザンの歌   | 吉 梅崎 春生     |
| 忘れ得ぬ思い出     | 田 中 大田 洋一   |
| 新イソップ物語     | 萬 吉         |
| 姿すよ遊雷隊長     | 老 人         |
| ヨミヨン戦士のバイブル | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 岩倉政治        | 老 人         |
| 山           | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 草 深し        | 老 人         |
| 婦人輸送船       | 老 人         |
| 一 鮎         | 老 人         |
| 富士正晴        | 老 人         |
| 塩川潔         | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人         |
| 華山          | 老 人         |
| イエレンブルグ     | 老 人         |
| 新イソップ物語     | 老 人         |
| 鉢の木のなぞ      | 老 人         |
| 安部公房        | 老 人</td     |